

令和6年度 第7回理事会

日 時：令和6年11月26日（火）：19：00～ 場所：ZOOM（オンライン）

出席者：（理事）磯野、高村、小林、井村、有泉、大西、鮎川
渡邊、上田、平賀、鈴木、菊池、古屋、山下
（部長・副部長）丸茂、藤原、小林
（監事）谷村

書 記：藤原

慶事：0件 弔事：0件

施設数：154施設 会員数：948（施設会員902/在宅会員46）人（11月24日現在）

【審議事項】

1. ①県士会の個人情報保護規定について、②後援・協賛規定について、③Supporters No165の企画について：事務管理局
2. 理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催について：士会支部局
3. 日本神経理学療法地方会について、2024年第4回学術研修会事業報告について：学術局
4. 救急搬送物品の購入について：業務推進局
5. ①山梨がんフォーラムボランティアスタッフへの日当支給について ②山梨県理学療法士会承認セミナー開催について：がんリハビリ推進委員会

【報告事項】

1. 中間監査報告：事務管理局
2. 第2回身体スペシャリストと学ぶ親子『カラダ』ワークショップ：事務管理局
3. ①2024年度第2、3回学術研修会開催報告②令和7年度の理学療法士講習会について③令和6年度協会指定管理者研修（初級）開催について④関東甲信越ブロック協議会 生涯学習担当者会議への参加：学術局
4. ①国際ジュニアテニス大会について②2024JOC杯U20・U17全国予選大会関東ブロック大会について③第79回スポーツ理学療法勉強会について：業務推進局（スポーツ理学療法部）
5. 令和6年度健康安全運動講座について：社会局
6. 令和6年度ワークライフバランス部研修会開催について：業務推進局（ワークライフバランス部）
7. 令和6年度「地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー育成研修」の開催について：業務推進局（地域包括ケア推進部）
8. ①令和6年度第3回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告、令和6年度山梨県地震防災訓練第2回関係者会議参加報告②令和6年度第3回がんリハビリテーション推進委員会 会議報告災害対策支援委員会③世界糖尿病デー ブルーライトアップ イベント参加報告④感染症対策委員会主催第1回講演会の開催について

【事務管理局より】

- ①理事会資料提出について、期日内での提出にご協力をお願いします。
期日を過ぎた場合は、各自でトークでの報告をお願いします。期日を過ぎた資料につきましては、議事録の修正が間に合わないこともありますので、理事会の際に共有ができるように準備をお願いします。
- ②事務管理局への依頼について、LINEWORKSへの移行をお願いします。
- ③事務管理局の負担軽減のためHPとメール配信関連を、大西事務管理局長を窓口とさせていただきたいと思っております。HPアップやメール配信は局長および部長から内容を確認したうえでの依頼をよろしく

お願いします。

【その他】

谷村幹事：中間監査の報告については記載の通りのため、後半も予定している事業を続けていただければと思います。

次回 日時：令和6年12月24日（火） 19：00～
場所：ZOOM（オンライン）

【 審 議 】（資料 1）

提出者	有泉 静佳	部局名	副会長
議 題	①県士会の個人情報保護規定についてについて（第 2 案） ②後援・協賛規定改定について		
内 容 および 提出趣旨	①10 月の理事会で審議をお願いした個人情報保護規定について、指摘された意見を反映した第 2 案の審議をお願いする。 ②後援・協賛規定の改定について、審議をお願いする。 過日、士会に届いた後援依頼について、規定（参加費上限 5,000 円）に抵触したため断ったという報告があった。山下局長と協議したところ、近年の研修会等では 10,000 円程度の参加費も多く、各学会（協会以外の団体主催）なども 5,000 円では少額すぎる印象との意見を頂いた。		
提出者の意見	①・情報の収集目的と手段について、理事会での協議を前提としているが、理事会に間に合わない場合は三役決裁を可能とすることとした（4 条 5 項） ・個人情報の保管について、基本は事務局となるが講習会参加申し込み等については、局長が保管することを可能とした（第 8 章）。 ・廃棄について、紙文書を想定したシュレッダー利用を追記した。また、局長や担当副会長が廃棄を行うことを可能とした（第 8 章）。 ・懲戒について、懲戒をする文言を載せておく。 ②後援可否の基準を内容重視とし、参加費については参考として記載した。 その他、表記上の修正あり。		
主な意見内容 など	意見：規定をして不具合があるかどうか確認していければよいと思う。		
審議結果	審議（終了）		
	①本日の日付を入れ、個人情報保護規定有効とする。		
	②承認		
	対応部局または理事氏名	なし	
	処理期間	なし	
	次回再検討予定	なし	
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

(資料2)

個人情報保護規程(案)

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人山梨県理学療法士会(以下、「本会」という。)の個人情報の保護に関する基本方針に基づいて本会が取り扱う個人情報の適切な保護のために定める。

(対象)

第2条 この規程は、本会において処理されている個人情報であって、組織的に保有するファイリングシステムの全部又は一部をなすものを対象とする。

(定義)

第3条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 個人情報

生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む)をいう。

また、研修会等に参加するために必要なクレジットカード情報等、上記「生存する個人に関する情報」に付随して収集される情報も含まれる。

(2) 個人情報データベース等

特定の個人情報を一定の規則(例えば、五十音順、生年月日順など)に従って整理・分類し、特定の個人情報を容易に検索することができるよう、目次、索引、符号等を付し、他人によっても容易に検索可能な状態においているものをいう。紙媒体、電子媒体の如何を問わない。

(3) 個人データ

「個人情報データベース等」を構成する個人情報をいう。

(4) 保有個人データ

個人データのうち、本会が、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止を行うことのできる権限を有するものをいう。ただし、①その存否が明らかになることにより、公益その他の利益が害されるもの、②6ヶ月以内に消去する(更新を除く)ものは除く。

(5) 個人情報管理責任者

個人情報保護計画の策定、実施、評価、改善等の個人情報保護のための業務について、統括的責任と権限を有する者をいう。

(6) 個人情報取扱担当者

個人情報のコンピュータへの入力・出力、台帳・申込書等の個人情報を記載した帳票・帳表を保管・管理等する担当者をいう。

(7) 預託

本会以外の者にデータ処理等の委託のために本会が保有する個人情報を預けること。

第2章 個人情報の収集

(収集の原則)

第4条 個人情報の収集は、収集目的(第7条に記載)を明確に定め、その目的の達成に必要な限度において行わなければならない。

2 収集目的(第7条に記載)以外の新しい目的で個人情報を収集するときは、担当者は個人情報管理責任者に事前に報告のうえ、理事会での承認を得なければならない。理事会の承認後、新しい目的での個人情報の収集が可能となる。

3 個人情報の収集は、原則、個人情報管理責任者および個人情報取り扱い担当者のみが行うことができる。
4 本会事業を円滑に実施するため、以下の場合、必要な限度において、理事会の承認を経て事業担当者が個人情報の収集を行うことができる。

(1) 研修会等、本会実施事業に参加申し込みをするために必要な情報

(2) 公益社団法人日本理学療法士協会（以下、「協会」と言う。）が定める生涯学習ポイント獲得のために必要な情報

(3) 研修会参加費等を徴収するために必要な情報

5 早急な対応が必要な場合で、理事会承認までに間に合わない場合は、三役決裁とすることができる。

(収集方法の制限)

第5条 個人情報の収集は、適法、かつ公正な手段（第8条に記載）によって行わなければならない。

2 収集方法（第8条に記載）以外の新しい方法又は間接的に個人情報を収集するときは、担当者は個人情報管理責任者に事前に報告のうえ、理事会での承認を得なければならない。理事会の承認後、新しい方法での個人情報の収集が可能となる。

(特定の個人情報の収集の禁止)

第6条 次に示す内容を含む個人情報の収集、利用又は提供を行ってはならない。

(1) 門地、本籍地（所在都道府県に関する情報を除く）、犯罪歴、その他社会的差別の原因となる事項

(2) 思想、信条及び宗教に関する事項

(3) 上記(1)及び(2)は、褒章等必要やむを得ない場合に限り、利用、収集できる

(個人情報を収集する目的)

第7条 会員および事業関係者から個人情報を取得する目的は、会員に対するサービスの提供（研修会等の開催含む）、保険事務、名簿管理等、本会の運営に必要な事項などで利用することである。

2 職員についての個人情報収集の目的は、雇用管理のためである。

(個人情報を収集する方法)

第8条 会員・事業関係者・事務局職員から個人情報を取得する方法は、以下の通りである。

(1) 本人の申告及び本会の求めによる提供

(2) 直接の面談

(3) 協会が管理する会員管理システムから提供される情報

(4) その他の場合は、本人、もしくは代理人の同意を得て収集する

第3章 個人情報の利用

(利用範囲の制限)

第9条 個人情報の利用は、原則として収集目的の範囲内で、具体的な業務に応じ権限を与えられた者が、業務の遂行上必要な限りにおいて行う。

2 個人情報管理責任者の承諾を得ないで、個人情報の目的外利用、第三者への提供・預託、通常の利用場所からの持ち出し、外部への送信等の個人情報の漏えい行為をしてはならない。

3 会員、事務局職員、派遣職員、委託外注職員及びすべての関係者は、業務上知り得た個人情報の内容をみだりに第三者に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。その業務に係る職を退いた後も、同様とする。

(利用目的の範囲)

第10条 個人情報は、通常の業務で想定される目的及び、通常の業務以外として次の1号から4号について使用する。

(1) 会員・事業関係者・事務局職員が当事者である契約の準備又は履行のために必要な場合

(2) 本会が従うべき法的義務の履行のために必要な場合

(3) 会員・事業関係者・事務局職員の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合

(4) 裁判所及び令状に基づく権限の行使による開示請求等があった場合

(目的範囲外利用の措置)

第 11 条 収集目的の範囲を超えて個人情報の利用を行う場合は、会員・事業関係者・事務局職員本人の同意を必要とする。

(個人情報の入出力、保管等)

第 12 条 個人情報のコンピュータへの入力・出力及びそれらの管理や名簿書類・申込書等の個人情報を記載した帳票の保管・管理等は次のとおりとする。

(1) コンピュータへ入力する場合は、速やかに滞りなく行う

(2) コンピュータに入力した個人情報については、パスワードを設定して保存する

(3) コンピュータからの出力は事業遂行に必要な場合のみとして、必要最低限としなければならない

また、事前に「個人情報管理責任者」または「事業実施の監督者（局長または担当副会長、委員会においては担当理事または担当副会長）」に許可を得なければならない

(4) 紙媒体による個人情報は、施錠可能な棚などに保管しなければならない

(5) 各個人情報の保管は「個人情報管理責任者」が上記の方法によって行うが、研修会等の当士会事業にて収集した申込書、受付名簿等の個人情報については、「事業実施の監督者（局長または担当副会長、委員会に置いては担当理事または担当副会長）」の管理、監督のもと、保管することができる。

第 4 章 個人情報の適正管理

(個人情報の正確性の確保)

第 13 条 個人情報管理責任者は、個人情報を利用目的に応じ、必要な範囲内において、正確かつ最新の状態で管理しなければならない。

2 会員・事業関係者・事務局職員から、個人情報の開示、当該情報の訂正、追加、削除、利用停止等の申し出を受けた場合は、事務管理局総務部が窓口となり、個人情報管理責任者は、速やかに処理しなければならない。

(個人情報の安全性の確保)

第 14 条 個人情報管理責任者および事業実施の監督者（局長または担当副会長、委員会においては担当理事または担当副会長）は、個人情報への不当なアクセス又は個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えい等の危険に対して細心の注意を払うとともに、個人情報を取り扱う者に対して担当者に常に注意喚起を行い、場合によっては管理方法の改善をしなければならない。

(個人情報の委託処理等に関する措置)

第 15 条 情報処理や作業を第三者に委託するために、個人情報を第三者に預託する場合には、委託担当者は事前に個人情報管理責任者に届け出なければならない。

2 第三者より個人情報の預託を受ける場合には、第三者の定める管理計画を考慮してこの規程に従うものとする。

3 個人情報管理責任者は、以下の各号の措置を講じ、会長の承諾を得てから基本契約を締結しなければならない。基本契約締結後に個別契約を締結し、当該個人情報の預託は、個別契約締結後にしなければならない。

(1) 個人情報の預託先について、預託先責任者との面接、必要に応じて預託先の情報処理施設の状況を視察あるいは把握し、個人情報保護及びセキュリティ管理が本会の基準に合致することを確認すること。再委託に関しては、同様の取扱いをするか、あるいは、委託先の責任で同様の取扱いを保証することが必要である。

(2) 次の事項を入れた基本契約書案を作成すること。

ア 守秘義務の存在、取扱うことのできる者の範囲に関する事項

イ 預託先における個人情報の秘密保持方法、管理方法についての事項

ウ 預託先の個人情報の取扱担当者に対する個人情報保護のための教育・訓練に関する事項

エ 契約終了時の個人情報の返却及び消去に関する事項

オ 個人情報が漏えい、その他事故の場合の措置、責任分担についての事項

カ 再委託に関する事項

キ 本会からの監査の受け入れについての事項

4 個別契約に基づき個人情報を預託先に提供するときは、担当者は前項(2)③の事項を記した書面を預託先

に交付して、注意を促さなければならない。

5 委託中、担当者は、預託先が本会との契約を遵守しているかどうかを確認し、万一、契約に抵触する事項を発見したときは、その旨を個人情報管理責任者に通知しなければならない。

6 前項の通知を受けた個人情報管理責任者は、直ちに会長と協議して個人情報の預託先に対して必要な措置を講じなければならない。

7 個人情報管理責任者は、年に一度以上、個人情報の預託先責任者と面接し、必要に応じて預託先の情報処理を把握あるいは視察し、監査しなければならない。

8 個人情報管理責任者は、本条に基づき作成された基本契約、個別契約、監査報告書、通知書等の文書（電磁的記録を含む）を当該個人情報の預託先との個別契約終了後7年間保存しなければならない。

（個人情報の第三者への提供）

第16条 個人情報の第三者への提供は、本人の同意がない場合は禁止する。例外として、以下の場合には第三者に提供することがある。

（1）法令に基づく場合（届出、通知）

（2）公衆衛生、児童の健全育成に特に必要な場合（疫学調査等）

（3）人の生命、身体又は財産の保護に必要な場合

2 第三者への提供は、原則として個人情報管理責任者の承諾を得て、必要な措置を講じた後でなければならない。

3 前項の通知あるいは報告を受けた個人情報管理責任者は、速やかにその是非を検討しなければならない。

（個人情報の共同利用）

第17条 個人情報を第三者との間で共同利用する場合、本人の同意を得た後、担当者は個人情報管理責任者に届け出なければならない。

2 前項の通知を受けた個人情報管理責任者は、直ちにその是非を検討し、会長の承諾を得なければならない。

第5章 自己情報に関する情報主体からの諸請求に対する対応

（自己情報に関する権利）

第18条 本会が保有している個人情報について、会員から説明、開示を求められた場合、希望する方法で説明、開示しなければならない。

2 家族あるいは第三者への個人情報の提供は、あらかじめ、本人に対象者を確認し、同意を得る。

3 開示した結果、誤った情報があった場合で、訂正、追加又は削除を求められたときは、個人情報管理責任者は、遅滞なくその請求が妥当であるかを判断し、妥当であると判断した場合には、訂正等を行い、遅滞なく会員に対してその内容を通知しなければならない。訂正しない場合は、遅滞なく会員に対してその理由を通知しなければならない。

（自己情報の利用又は提供の拒否権）

第19条 本会が保有している個人情報について、会員から自己情報についての利用又は第三者への提供を拒まれた場合、これに応じなければならない。ただし、裁判所及び令状に基づく権限の行使による開示請求等又は本会が法令に定められている義務を履行するために必要な場合については、この限りでない。

第6章 管理組織・体制

（個人情報管理責任者）

第20条 個人情報管理責任者は、個人情報の保護についての統括的責任と権限を有する責任者であることとし、事務管理局長を充てる。

2 個人情報管理担当者は事務管理局総務部長を充てる。

（個人情報保護苦情・相談窓口の設置）

第21条 個人情報管理責任者は、個人情報及び個人情報保護計画に関する苦情・相談を受けなければならない。

2 個人情報管理責任者は、苦情・相談窓口の連絡先を当士会 HP 等通じ周知しなければならない。

第7章 個人情報管理責任者の職務

(個人情報の特定とリスク調査)

第22条 個人情報管理責任者は、本会が保有するすべての個人情報を特定し、危機を調査・分析するための手順・方法を確立し、維持しなければならない。

2 個人情報管理責任者は、局、部、委員会ごとに前項の手順に従って各局、各部、各委員会における個人情報を特定し、個人情報に関する危険要因（個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等）を調査・分析の上、適切な保護措置を講じない場合の影響を認識し、必要な対策を策定し、維持しなければならない。

(法令及びその他の法規範)

第23条 個人情報管理責任者は、個人情報に関する法令及びその他の法規範を特定し、参照できる手順を確立し、維持しなければならない。

(個人情報保護の周知)

第24条 個人情報管理責任者は、個人情報管理担当者の協力を得て、個人情報を保護するために必要な知識や情報を各局員および委員会委員に周知しなくてはならない。

2 必要に応じて、他局・部の協力を得て、個人情報保護に関する研修会を開催することができる。

(規程等の見直し)

第25条 個人情報管理責任者は、適切な個人情報の保護を維持するために、適時この規程を見直し、理事会の承認を得なければならない。

(文書の管理)

第26条 個人情報管理責任者は、この規程に基づいて作成される文書（電磁的記録を含む）を管理しなければならない。

第8章 廃棄

(個人情報の廃棄)

第27条 個人情報を廃棄する場合は、シュレッダーの使用や匿名化、もしくは、適切な廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

2 個人情報を記録したコンピュータを廃棄するときは、特別のソフトウェア等を使用して個人情報を消去し、フロッピー、CD、MO 等の記憶媒体は物理的に破壊する。

3 個人情報を記録したコンピュータを他に転用するときは、特別のソフトウェア等を使用して個人情報を消去してから転用する。

4 雇用管理に利用した個人情報についても、同様の処理をする。

5 個人情報の廃棄作業は、個人情報取扱担当者が行う。

6 各局、部、委員会が保管している個人情報については、担当局長および委員会担当理事が、上記方法に準じて廃棄する。

7 廃棄の基準について、会員・事務局職員に告知しなければならない。

第9章 罰則

(罰則)

第28条 本会は、この規程に違反した会員に対して懲戒を行うことがある。

(手続き)

第29条 懲戒の手続きは、次のように定める。

(1) 協会の懲戒規定則り実施する

(2) 協会の懲戒規定に該当しない場合は、三役で協議して理事会に諮る

(3) 事務員については、就業規則に準ずる

第10章 規程の改廃

(規程の改廃)

第30条 この規程の改廃は、個人情報管理責任者の意見を聞き、理事会の決議を経なければならない。

附則

1 この規程は、令和6年 月 日より施行する。

一般社団法人山梨県理学療法士会 後援・協賛規定

(目的)

第一条 県士会に学術研修会、後援会、諸行事等の主催者から後援・協賛依頼があった場合、次の規定に基づき決定する。

後援：依頼のあった団体に対して、名称のみの援助を行う

協賛：依頼のあった団体に対して、その事業の実行を金銭的にも援助する。

- (1) 主催者の資格、身分、団体がはっきりしているもの
- (2) 営利目的の行事でないもの
- (3) 後援・協賛内容・目的が明確であるもの
- (4) 内容・目的が理学療法士の業務、研究に関連あるもの
- (5) 山梨県理学療法士会員を対象とし、優先参加が可能なもの
- (6) 理学療法士の資格、業務を脅かす恐れのないもの
- (7) 原則として、県士会自体で企画・運営できないもの
- (8) 参加費の上限は、5,000円とする

(変更後) →参加費の上限は特に定めないが、10,000円程度を目安とする。

(手続き)

第二条 山梨県理学療法士会、あるいは県士会長宛に文章にて依頼があった場合に後援・協賛依頼受理とする。

(変更後) →1 山梨県理学療法士会、あるいは県士会長宛に文書、メール等で依頼があった場合に後援・協賛依頼受理とする。

2 会長、副会長、事務管理局長で審議し、決定する。決定事項は、後日理事会にて報告する。

3 決定事項は会長名の文章にて回答する。

(変更後) →決定事項は会長名の文書にて回答する。

(例外規定)

第三条 上記以外は、理事会出席者全員の賛成の場合のみ例外を認める。

以上

付則 1. この規定は本理事会により改廃する。

2. 平成22年10月19日より施行する。

3. 平成23年4月1日一部改定により施行する。

4. 平成24年4月1日一部改定により施行する。
5. 平成25年10月29日一部改正により施行する。
6. 令和6年 月 日 一部改正により施行する
 - ・参加費用について修正。5,000円→上限なし
 - ・文章を文書に修正。以来の方法にメールを追記

【 審 議 】（資料3）

提出者	宇月 正明	部局名	広報局 会報部
議 題	Supporters No. 165 の企画		
内 容 および 提出趣旨	<p>・短期コラム企画 「私の科学の学び方」を題として、No. 166 では帝京科学大学、No. 167 では健康科学大学に、それぞれ一本のコラムを依頼する。</p> <p>また次号 No. 165 では、僭越ながら会報部にて、 「私の科学の学び方」～SF を交えてちょっと BMI の話しませんか～ を執筆し掲載予定。</p> <p>他 2024 年度 責任者・若手向け意見交換会 報告 公開講座 報告 活動報告 お知らせ リレーエッセイ等</p>		
提出者の意見	<p>山梨県理学療法士会ホームページより「目的」一部抜粋 「…理学療法の学問的成果並びに先進技能を研鑽し、併せて理学療法士全体の資質の向上に努めることにより…」とあります。</p> <p>会報部として、「学問的成果並びに先進技能の研鑽」の一助になる読み物の掲載を起案。 例えば大学で教鞭を取っている先生方は、どのような時に学び（調べ）たくなるか、どのような学びをしているのか、何がきっかけで今の研究をしているのか、等々コラム形式で執筆をしていただくよう依頼。</p> <p>若い士会員が、色々学んでみよう、研究をしてみようといった啓発になればと考え起案。</p>		
主な意見内容 など	<p>質問：帝京科学大学、健康科学大学からの了解は得られているのか。</p> <p>回答：次号、またその次の号になるのでこれから依頼していく。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	承認		
	対応部局または理事氏名	会報部	
	処理期間		
	次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

私の科学の学び方
～SFを交えてBMIの話しませんか～

とある学会の企業ブースで、脳科学と「Artificial Intelligence(以下AI)」を融合した「Brain Machine Interface (以下BMI)」技術を体験をしました。その時は「へー、ほー」と感心して聞いていましたが、後に私の頭の中で色々な情報が突如結びつきだしました。

2014年3月14日に公開された『ロボコップ』リブート版を鑑賞された方はいるでしょうか。映画の序盤に「リハビリテーション棟」がでできます。

時代は2028年、患者は両前腕切断。両腕にメタリックな義手をつけたプロのアコースティックギタリスト。脳には義手を動かすチップを外科的に埋め込まれている様子。脳の活動がモニタリングされている。医者はギターを弾くように促し、彼はプラシド・ドミンゴの「En Aranjuez Con Tu Amor」を弾き始める。コードを抑える左手。弦を弾く右手。滑らかな両手の協調でドミンゴの失恋のメロディが奏でられた。手術は成功に思われが両手が思うように動くことがわかると、彼は音に「感情」を乗せ始める。しかし脳のチップには、「感情」が「ノイズ」となり、義手は彼の制御を失い始める。

そのようなシーンでした。私は当時、映画の内容に没頭して気づかなかったのですが、これって「BMI」なのでは？と、思い出したのです。それがきっかけで今回、BMIを調べてみました。

現実世界ではBMI研究は1960年に公表された「サイボーグ」に関する論文に遡るとされています。国家主導でBMI研究に投資している総額は、2026年までの日本、米国、欧州連合、中国を合わせると日本円にして約9881億円です。日本の動向は2007年に策定した長期的な研究開発指針「イノベーション25」から始まり、2024年度からは仮想空間上に脳を再現する「デジタル脳」の構築へと繋がります。また2020年に始まった「ムーンショット型研究開発事業」も進行中です。

BMIも侵襲型、非侵襲型、入力型、出力型とあり、進化をし続けるAIを導入することによって、BMI研究はさらに加速される予想があります。医療では、脳の指令によって運動時に発生する「筋電位」を検知して義手を動かす「筋電義手」があり、米BrainRoboticsはAIと組み合わせて精密に制御する製品を2024年に発売する予定です。

『ロボコップ』リブート版が公開された2014年と照らし合わせたり、調べた結果から考えると、劇中に出現するテクノロジーはBMIと思えてなりません。

前記した「ムーンショット型研究開発事業」には10の目標があり、ムーンショット目標1は「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」です。その説明として「身体、脳の機能を拡張するサイボーグ(義体)技術が普及し、誰もが平等に仕事や趣味で活躍できるようになる。加齢や病気のために衰えてしまった能力を補って社会参加する人が増えるだけでなく、サイバー空間に保存されているアーティストの感覚を脳にインストールして、アートの才能を拓けるような新しい学習方法も登場。脳や身体の制約から解放されて、目的や夢を無理なくかなえる手段が充実した社会が実現する。」とあります。

なんだか「攻殻機動隊」や映画「マトリクス」の世界観ですが、この技術の軍事転用等の懸念材料が山積しているように思えました。もちろん「ムーンショット型研究開発事業」も折に触れ、倫理的・法的・社会的課題(Ethical, Legal and Social Issues、以下ELSI)も合わせて考えていくと説明しています。倫理においては日本でBMI研究が始まって間もなく、川人光男・佐倉統両氏が「BMI倫理4原則の提案」を執筆しています。

BMI倫理4原則

原則1：戦争や犯罪にBMIを利用してはならない

原則2：何人も本人の意思に反してBMI技術で心を読まれてはいけない

原則3：何人も本人の意思に反してBMI技術で心を制御されてはいけない

原則4：BMI技術は、その効用が危険とコストを上回り、それを使用者が確認する時のみ利用されるべきである。

『ロボコップ』リブート版に話を戻すと、オムニコープ社に雇われているノートン博士が瀕死だった警官アレックスをロボコップにし、ストーリーが展開されます。実はこの時点で原則4に抵触しています。その後もロボコップの能力向上のため、オムニコープ社に難題を出されるノートン博士は、BMI技術ではないですが原則3にも抵触します。劇中ではオムニコープ社とノートン博士の構図から、いたし方なくELSIを軽んじてしまうようにストーリーは進んでいきました。今後BMIが社会実装段階において反面教師となり得るような作品でした。

SFはScience Fiction:科学的な空想に基づいたフィクションです。もしご興味があればSF系を楽しんでみてください、その物語の背景となっているScience部分を調べると、その物語の解釈も深くなって面白いのです。

参考文献

- 1 吉峰俊樹・平田雅之・柳沢琢史・貴島晴彦（2016）「ブレイン・マシン・インターフェイス (BMI) が切り開く新しいニューロテクノロジー」（日本脳神経外科コンgres『脳神経外科ジャーナル』25 巻 12 号）
- 2 計測した脳活動データを被験者自身が行動改善に活かす「ニューロフィードバック」等は広義の BMI と位置付けられる。（三原雅史（2018）「治療型BMI としての Neurofeedback の神経疾患治療への応用」（『臨床神経生理学』46 巻 1 号））
- 3 Manfred E. Clynes & Nathan S. Kline(1960)“Cyborgs and Space”をきっかけに人と機械が融合する技術の研究が盛んになったと考えられる。（横井浩史、姜銀来（2017）
- 4 「BMI 出力デバイス—人と機械が相互に適応できる技術を目指して—」（精密工学会『精密工学会誌』Vol.83 No.11））
- 5 ムーンショット目標1の研究開発プロジェクト「身体的能力と知覚能力の拡張による身体の制約からの解放」
- 6 ブレイン・マシン・インターフェースの進化と社会実装に向けた課題
- 7 川人光男・佐倉統（2010）「脳と機械の融合はどこまで許されるのか-BMI技術の倫理4原則の提案-」（現代科学No.471)

【 審 議 】（資料 4）

提出者	高村浩司、平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催内容について		
内 容 および 提出趣旨	<p><概要></p> <p>日時：2024年12月5日（木）19：00～20：40</p> <p>場所：大木記念ホール</p> <p>対象：理学療法部門責任者および経験年数1～3年目の理学療法士</p> <p>参加者数：28施設103名（管理者23名、若手80名）</p>		
提出者の意見	<p>12/5に予定している管理者・若手合同情報交換会の詳細について計画いたしました。①県内の理学療法士間のネットワーク構築・強化 ②管理者と若手理学療法士に向けて山梨県理学療法士会の事業を説明を目的として具体案を提示します（資料5を参照）。ご意見を頂戴できますと幸いです。</p>		
主な意見内容 など	<p>質問：会長は何をするのか。</p> <p>回答：制度とどの様にからめるのか。会長として最後一言もらいたい。各グループをいろいろ見ていただいて、質疑応答の役割を担っていただきたい。</p> <p>質問：各理事の持ち時間はどれくらいになるのか。</p> <p>回答：出来るだけコンパクトに、1-2分でまとめてもらいたい。</p> <p>質問：グループワーク1と2は、移動することでいいですか。</p> <p>回答：移動時間はなくて、事業説明をコンパクトにして前倒しにしていきたい。</p> <p>質問：アンケート等取りますか。</p> <p>回答：QRコードなどでオンライン上でアンケートを取っていく予定。。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	承認、12月5日に開催		
	対応部局または理事氏名	士会支部局	
公開度	処理期間		
	次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

管理者・若手合同意見交換会 詳細

1. 開催概要

日時：12/5（木）19時00分～20時40分予定

場所：大木記念ホール

参加者数：28施設103名（管理者23名、若手80名）

2. スケジュール

18：30～	受付
19：00～19：05	開会ならびに趣旨説明（司会）
19：05～19：30	士会事業説明 会長→副会長①（担当部署の紹介）→担当理事①②（担当内容説明）→副会長②→担当理事③④…の順に行う（組織図左側より）
19：30～20：00	グループワーク① 管理者・若手合同テーブル テーマ：管理者向けー理学療法士になってよかったこと+管理者の考える未来の理学療法士像 若手向けー若手の考える未来の理学療法士像
20：00～20：30	グループワーク② 管理者・若手別テーブル テーマ：どんな支援がほしい？
20：30～20：35	質疑応答
20：35～20：40	閉会

総合司会：平賀篤（士会支部局長）

受付：士会支部局員2名

3. 事前準備・当日運営

① グループワーク

- ・グループ数：8
- ・グループ作成：事前に設定
- ・ファシリテーター：山梨県理学療法士会 局長（会長、副会長、士会支部局長は全体把握のため除く）
- ・記録方式：各自発言したあと付箋に同内容を記載し、台紙に張り付けていく（書記は立てない）

② 会場設営

- ・副会長、士会支部局の他甲州リハビリテーション病院スタッフにも協力を要請する

③ 事前準備物品

- ・配布物：名前シール、組織図、会次第、席次表
- ・グループワーク用品：・グループワーク用台紙 ・黒マジック ・付箋
- ・その他：受付用名簿

4. 局長への確認・依頼事項

- ① 出欠確認
- ② 簡潔な事業説明
- ③ グループワークファシリテーター：円滑なコミュニケーションの誘導

【 審 議】（資料6）

提出者	鮎川将之	部局名	学術局
議 題	日本神経理学療法地方会について		
内 容 および 提出趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本神経理学療法学会に附属する組織として各県に地方会が設立 ・ 山梨県の神経理学療法を発展させるために、病院間の横のつながりを強化していくことが目的 ・ 代表が高村副会長から鮎川へ変更 ・ メーリス・Xなどで、部員の募集などをさせてもらいたい 		
提出者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山梨県の神経理学療法学会などの参加率は全国ワーストレベル(今年度福岡) ・ 後々は学術局の活動ともコラボした活動を目指したい 		
主な意見内容 など	<p>質問：地方会と県士会との関係はどのようになっているのか。</p> <p>回答：地方会で違いがある。各県士会をコラボして発信してもらいたい。地方会の代表が理事が入っていればやりやすさがあるが活動はまちまち。地方会で都道府県に温度差があり、神経学会ばかりに協力できないが、神経学会がパイオニアで学会を発展させていきたい。なかなか理解されない士会もあれば、協力体制を敷いているところもある。神経部門に関してレベルを上げるいい機会なので協力体制を組んでいただきたい。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	承認		
	対応部局または理事氏名	学術局	
公開度	処理期間		
	次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

【 審 議 】（資料 7）

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2024 年度第 4 回学術研修会事業開催について		
内 容 および 提出趣旨	<p>第 4 回学術研修会 日程：2024 年 1 月 19 日（日）10:00～16:00 会場：大木記念ホール 講師：澤田誠先生（令和健康科学大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教） テーマ：パーキンソン病の病態メカニズムと理学療法 カリキュラムコード：区分 6-81 パーキンソン病関連疾患の理学療法 受講費用：県内会員 1,000 円、県外会員、非会員 2,000 円、学生無料</p>		
提出者の意見	<p>2024 年度第 4 回学術研修会は対面形式にて開催する。講師に令和健康科学大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 助教澤田 誠先生を招聘し「パーキンソン病と病態メカニズムと理学療法」というテーマでご講義をいただく。澤田 誠先生は長年臨床現場で神経難病患者の理学療法に携わり、パーキンソン病のすくみ足に関する論文投稿、学会発表を数多くされ、この分野において第 1 線でご活躍されている先生である。今回、パーキンソン病における歩行障害、バランス障害等の症状がどのような背景で引き起こされるのか、その病態メカニズムおよび実際の評価方法ならび治療介入の方法についてご教示いただく予定である。なお、参加費用及び運営方法は開催規定を踏襲する。</p>		
主な意見内容 など	<p>質問：駐車場に関して磯野先生に予約を取ってくださいと返答があったがどの様に対応すればよいか。 回答：大木記念ホールを使う場合に事務局の山下局長にお知らせをする。駐車場は病院前を使ってよい。 質問：何人の参加者の予定ですか。 回答：50 名程度の予定。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	承認 大木記念ホールまた駐車場に関しては山下局長に連絡する。		
	対応部局または理事氏名	学術研修部	
	処理期間 次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

【 審 議 】（資料8）

提出者	小林 幸一郎、古屋 伴仁	部局名	業務推進局 スポーツ理学療法部
議 題	救急搬送物品の購入について		
内 容 および 提出趣旨	<p>1) 物品一覧（酒井医療御株式会社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイテクバックボード（1個） ・ヘッドイモビライザー（1個） ・バックボードストラップ（3個） ・ファーノ・ウィズロック（1個） <p>2) 用途 大会活動時などの救急搬送で使用</p> <p>詳細は物品購入起案書・決裁書、見積書を参照</p>		
提出者の意見	詳細は物品購入起案書・決裁書を参照		
主な意見内容など	<p>質問：予算に挙がっていますか。</p> <p>回答：挙がっている。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・承認 ・合い見積もりをして購入する業者を選定する。 		
	対応部局または理事氏名	業務推進局 スポーツ理学療法部	
	<p>処理期間</p> <p>次回再検討予定</p>		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

(資料9)

(様式1-1)

決 裁	会長	副会長	副会長	確 認	事務局長	総務部長	財務部長
	・	・	・		・	・	・

物品購入起案書 (物品起案第 _____ 号)

以下の通り、物品を購入してよろしいかお伺いします。

提出年月日	平成 6 年 11 月 6 日	
提出者	部署名	業務推進局スポーツ理学療法部
	起案者名	スポーツ理学療法部長 小林幸一郎
	担当理事名	業務推進局理事 古屋伴仁
品名	救急搬送機器一式(詳細は見積書を参照)	
数量	1セット	
製造会社	酒井医療株式会社	
購入先	マコト医科精機株式会社	
購入金額	226,710円	
購入事由	スポーツ理学療法部ではテニス大会やレスリング大会他、年間5大会程度、医務班、大会トレーナーとして出向している。大会にかかわる上で脳震盪他、救急対応をしなければならないケースもあり、その際、医療従事者の我々が選手を搬送することが多い。昨今、搬送も含めた救急処置による事故も発生しており、適切な教育や方法が行われず、訴えられることもある。部として上記物品を整備し、教育も含めて進めることで選手自身もさることながら我々の立場も守ることを鑑み、搬送機器一式を購入したいと考えている。	
備考		



ピン付き



スクープエクセル ピン付き

送料サ **S021615010** **¥298,000**

ベルト接続用のピンが付いているタイプ。傷病者をすくい上げる構造なので、脊椎・頸椎損傷の可能性がある傷病者の動きを最小限に抑えることができ、二次障害の危険性を減少させます。

寸法 最大2020 (L) × 440 (W) × 71 (H) mm
長さ調節4段階 (1650 / 1710 / 1900 / 2020)

質量 8.9kg
耐荷重 227kg
付属品 固定用ベルト3本

スクープエクセル

送料サ **S021615008** **¥280,000**

傷病者をすくい上げる構造なので、脊椎・頸椎損傷の可能性がある傷病者の動きを最小限に抑えることができ、二次障害の危険性を減少させます。

寸法 最大2020 (L) × 440 (W) × 70 (H) mm
長さ調節4段階 (1650 / 1710 / 1900 / 2020)

質量 8.9kg
耐荷重 227kg
付属品 固定用ベルト3本



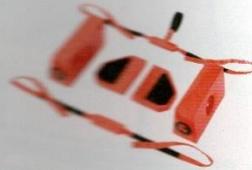
ハイテクバックボード

送料サ **S021210004** **¥112,000**

ABS樹脂製で、血液や体液等が内部へ浸透することを防ぎ、清掃も容易に行えます。適度な浮力があるので、水難救助にも使用することができます。

寸法 1830 (L) × 410 (W) × 45 (H) mm
質量 5.9kg
耐荷重 159kg

オプション(スクープエクセル用)



ヘッドモライザー

送料サ **S021414009** (一般) **¥50,000**

スクープエクセル用のベースプレート分割式。傷病者の頭部や頸椎等を固定することができます。

寸法 210 (L) × 540 (W) × 50 (H) mm
質量 1.0kg

共通オプション(スクープエクセル・ハイテクバックボード用)



アーウェイマスク

送料サ **S021414005** (一般) **¥25,000**

傷病者の呼吸を固定することができます。体型に合わせて顎部は約12〜15cmの幅で調節可能。後頭部は3段階に高さを調節することができ、小児から使用することができます。

寸法 200 (L) × 270 (W) × 70 (H) mm
質量 1.0kg

3Mヘルパッド
4MCS (標準仕様)

オプション(ハイテクバックボード用)



ヘッドモライザー

送料サ **S021414004** (一般) **¥50,000**

バックボードと併用して使用します。傷病者の頭部や頸椎等を固定することができます。

寸法 250 (L) × 390 (W) × 150 (H) mm
質量 1.3kg

バックボードストラップ

送料サ **S021413020** **¥14,000**

両端にスピードクリップ付きなので、バックボードへの脱着が素早く容易です。

料サ
000
スト
がで

評価

運動

水治療

物理

AC
作業

言語

自立

衛生

入浴

系

【 審 議 】（資料 1 2）

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	山梨がんフォーラム（山梨がんサミット 2024 第 3 弾）への県士会協力について		
内 容 および 提出趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年 12 月 22 日（日） 開始 12：00～ ・ 会場：山梨県立図書館 ・ 内容：山梨がんフォーラム（山梨がんサミット 2024 第 3 弾）への県士会協力について 		
提出者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催者より「協力：山梨県理学療法士会」と記載して良いか、打診をいただいております。ご承認いただけますと幸いです。 		
主な意見内容 など	<p>質問：協力の文章は来ていますか。</p> <p>回答：まだ来ていない。</p> <p>質問：協賛、後援ではなく、県士会を PR してくれるものなのか。</p> <p>回答：こちらからブースをだして協力することになる。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼については承認 ・ 協力依頼の文章を確認する。 		
	対応部局または理事氏名	がんリハビリ推進委員会	
	処理期間 次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		

【 審 議 】（資料 13）

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	山梨がんフォーラムのボランティアスタッフへの日当支給について		
内 容 および 提出趣旨	<p><活動概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標記イベントにおいて、握力測定・ロコモチェック・リンパ浮腫などのがんのリハビリテーションに関する相談ブース設置を予定している。こちらの運営に際し、受付、誘導、検査補助を担っていただく人員に対し、有償ボランティアとして日当支給を行いたい。 ・ 日時：令和6年12月22日（日）10：30～13：30 * 予定変更の可能性あり ・ 場所：山梨県立図書館 <p>【当日スケジュール】10：30 会場集合、設営準備 12：00 ワークショップ開始 13：30 講演</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>県士会員以外の協力者に対して日当を支給したいと考えております。</p> <p>金額は、一般社団法人山梨県理学療法士会旅費規定第六条3項（4時間以内では2,000円・4時間を超える（1日）では4,000円）を適応していただきたく存じます。</p> <p>当該イベントについては今後も継続的に参画していきたいと考えております。</p> <p>休日開催であるため、委員会（4名）のスタッフ配置では継続困難となることが懸念されます。10月6日開催の際には6名の方（千葉県PT1名、大学研究補助員1名、学生4名）からの協力をいただいております。ご検討の程、よろしくお願い致します。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	<p>質問：前例はありますか。</p> <p>回答：認知症委員会のRUN伴で行っていたスタッフは士会員になってもらった。</p> <p>質問：当会の内容で、当外ではないので、県士会員ではないので支払えるのか。</p> <p>回答：何かあった場合の補償をどうするのかの意見はあったが、学生や山梨大学のサポートについては保証できるが、それ以外は分からない。</p> <p>質問：スタッフの声掛けはしているのか。</p> <p>回答：していないので、士会員に協力を依頼していく。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	対応部局または理事氏名	がんリハビリ推進委員会	
	処理期間 次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

参加費
無料
事前申込
不要

山梨がんサミット2024第3弾 かいぶらり健康フォーラム

腸の健康から免疫を考える

日時：2024年12月22日（日）

場所：山梨県立図書館イベントスペース
12時～体験ワークショップ



：ロコモ測定・がんサロン・がん相談他

理学療法士会による運動療法体験・リンパ浮腫相談などあり

13時30分～講演：腸内環境と免疫と健康の関係

報告：小児がん治療と心理社会的支援の実態
小児病棟等へのクリスマスプレゼント

主催：NPO法人がんフォーラム山梨 事務局 花水木
共催：山梨県立図書館

	講演テーマ	講師
第1部	腸内環境とプロバイオティクス	太田 俊久 氏 (株) ヤクルト
第2部	腸内環境と免疫、健康の関係	岡本雄太郎 氏 総合診療専門医 都留市立病院
第3部	小児がん・CAYA世代への支援や 取り組みの紹介	がんフォーラム山梨
第4部	パネルディスカッション	座長 福井里美 氏 東京都立大学 看護学科



NPO法人がんフォーラム山梨では、毎年、病気療養のため、年末年始を病院で過ごす子どもたちにクリスマスプレゼントを贈っています。このチャリティの一環で開催しています。

【 審 議 】（資料 15）

案件番号 -

提出者	山田洋二	部局名	がんリハビリ推進委員会
議 題	山梨県理学療法士会承認セミナー開催について		
内 容 および 提出趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年3月11日（火） 開始 18：30 ～ 終了 20：00 ・会場：大木記念ホール ・内容：がんリハビリテーションの維持期、緩和期における ADL 障害に対する関わり 		
提出者の意見	・カリキュラムコード 区分 9-116 「がんのリハビリテーション」で申請をお願いします。		
主な意見内容 など	特になし。		
審議結果	審議（終了）		
	承認		
	対応部局または理事氏名	がんリハビリ推進委員会	
公開度	処理期間		
	次回再検討予定		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

【 報 告 】 (資 料 1 6)

令和6年度中間監査報告

監 事 齋 藤 智 雄

監 事 谷 村 英 四 郎

令和6年度中間の事業報告、計算書類、これらの附属明細書の監査について報告します。

- (1) 各局の事業報告、計算書類、附属明細書について、当法人の状況を正しく表示され、不正の行為、法令若しくは定款に違反する事実はありませんでした。
- (2) 新しい組織体制の中、磯野会長を中心に横のつながりを大切にされ、運営されていることを高く評価したいと思います。下半期の事業も多く計画されており、引き続き各部局内での意思の疎通を図って頂きたい。
- (3) 理学療法週間のイオンモールなどでの啓発活動や山梨日日新聞及び東京3誌への広告掲載活動を引き続き行って頂きたい。
- (4) 災害時における県士会員安否確認方法について具体的に検討して頂きたい。
- (5) 財務部の運営において、運用マニュアルが整備され、業務の効率化と負担軽減のためICT化が図られていることを高く評価します。
- (5) 今後、士会運営において、女性の積極的活用を検討して頂きたい。
- (6) 士会として、市町村との関わりを幅広く検討して頂きたい。

以上

令和6年度 中間決算書
 自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日
 一般社団法人 山梨県理学療法士会

1. 収入の部

(単位:円)

科目	令和6年度予算額	令和6年度中間決算額	増減	備考
士会費収入	9,870,000	9,600,000	-270,000	987名 一般会員:937名(令和5年3月末会員数、連絡不能者除く)、 新入会員:50名(予測)
事業収入	1,990,000	0	-1,990,000	
交流会 参加費	1,350,000	0	-1,350,000	会員200名×6,000円、新入会員50名×3,000*開催の場合
研修費 学術局研修部研修会	640,000	0	-640,000	学術研修:年4回、@1000円、340名参加*オンライン時は無料 委託講習:1回開催@10,000円、30名参加
研修費 新人教育研修部研修会	0	0	0	新人教育研修:3回開催、延べ500名 *今年度は無料
研修費 士会学術研修部	0	0	0	三士会合同学会となるため、士会としての参加費収入は無し
研修費 地域包括ケア推進部	0	0	0	地域包括ケア・介護予防推進リーダー導入研修会 及びフォローアップ研修(35名)。※今年度は無料
繰越金	5,723,614	5,723,614	0	旧基金:950,181円含む
補助金助成金	2,079,700	2,079,700	0	
山梨県リハビリテーション病院施設協議会	150,000	150,000	0	
日本理学療法士協会	1,929,700	1,929,700	0	150万円+937名×100円(令和6年3月末会員数、休会会員 除く、連絡不能者も含む)、生涯学習補助金336,000円
年度収入合計	19,663,314	17,403,314	-2,260,000	
営業外利益	35,000	888	-34,112	利子、ボランティア保険返金等
経常収益計(A)	19,698,314	17,404,202	-2,294,112	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	令和6年度予算案	令和6年度中間決算額	増減	備考
管理費	8,919,000	4,435,108	-4,483,892	
事務管理局	8,848,000	4,364,108	-4,483,892	
総務部	1,600,000	971,782	-628,218	諸経費および手数料、慶弔費、zoom費用、メール配信費用
財務部	3,549,000	2,124,405	-1,424,595	理事交通費、事務員給与、士会事務所諸経費、 通信運搬費、会計士委託費、ラインワークス費用等
渉外部	18,000	11,020	-6,980	連盟会議交通費
会報部	500,000	0	-500,000	年2回会報誌発行に伴う諸経費、取材費
広報部	3,110,000	1,185,901	-1,924,099	新聞掲載費(山日、東京三紙)、公開講座の開催経費、パン フレット印刷代等
租税公課	71,000	71,000	0	法人税・印紙代
各局事業費	7,432,000	400,292	-7,031,708	
士会支部局	555,000	65,400	-489,600	
中西部支部	375,000	55,800	-319,200	支部活動構築に向けた諸会議等に関わる経費
富士東部支部	180,000	9,600	-170,400	同上
学術局	5,110,000	169,525	-4,940,475	
新人教育研修部	330,000	94,131	-235,869	新人教育プログラム開催に伴う諸経費
研修管理部	470,000	0	-470,000	新規設置:委託講習会、協会研修部事業を実施
士会学術集會部	112,000	0	-112,000	第27回学術集會開催に関する経費 三士会合同学会に関する経費(士会活動分)
学術研修部	2,520,000	75,394	-2,444,606	年4回学術研修会開催に伴う諸経費、企画研修開催 費
学術誌編集部	1,678,000	0	-1,678,000	学術誌発刊に関わる経費(発送費含む)
臨床実習指導者講習会部	0	0	0	新規設置:事業は臨床実習指導者講習会山梨県協議 会

福祉厚生局		332,000	4,200	-327,800	
	医療保険部	100,000	4,200	-95,800	診療報酬研修会諸経費、各種情報発信
	介護保険部	52,000	0	-52,000	介護報酬研修会諸経費、各種情報発信
	こども福祉部	180,000	0	-180,000	新規設置：特別支援教育委員会および、学校保健推進執行委員会を引き継ぐ
業務推進局		1,435,000	161,167		
	委託事業部	150,000	75,777	-74,223	いきいき山梨ねんりんピック出展等、委託事業参画に伴う諸経費、活動費計上
	スポーツPT部	850,000	75,390	-774,610	スポーツPT勉強会開催に伴う諸経費、テーピング等消耗品購入費、救急搬送器具購入に関わる経費
	調査・研究部	55,000	10,000	-45,000	アンケート調査実施
	地域包括ケア部	240,000	0	-240,000	新規設置：地域連携部と地域支援事業等推進委員会を引き継ぐ
	ワークライフバランス部	140,000	0	-140,000	新規設置：働きやすい環境創り検討委員会を引き継ぐ

委員会・その他		719,000	76,749	-642,251	
	選挙管理委員会	10,000	8,440	-1,560	理事、監事改選に伴う選挙管理費用等、通信費、消耗品費
	表彰委員会	5,000	0	-5,000	通信運搬費、会議費
	糖尿病対策推進委員会	135,000	2,000	-133,000	研修会の実施、会議費、全国連絡会参加
	感染症対策委員会	110,000	2,400	-107,600	研修会開催、情報の発信等に関わる経費
	関ブロ学会準備委員会	0	0	0	特別委員会：特別事業積立基金から支出
	訪問理学療法委員会	15,000	0	-15,000	会議費、旅費等
	災害対策支援委員会	50,000	0	-50,000	士会単独研修会開催に伴う諸経費、やまなしJRAT参画
	認知症対策委員会	234,000	63,909	-170,091	研修会の実施、講師謝金、認知症イベントへの参画、
	がんリハ推進委員会	160,000	0	-160,000	会議費、旅費等
	関東甲信越ブロック協議会拠出金	97,000	96,940	-60	965名×100円+振込手数料込:440円：令和5年12月1日会員数
	山梨県リハ専門職団体協議会拠出金	376,000	375,020	-980	937名×400円+振込手数料：220円 令和6年3月末会員数
	山梨JRAT拠出金	10,275	10,275	0	振込手数料込
	三士会合同学術大会拠出金	0	0	0	3年に1度の拠出金、今年度開催、特別事業積立金から拠出
基金		2,000,000	0	-2,000,000	
	特別事業等積立基金	1,500,000	0	-1,500,000	その年の予算規模に応じた金額を積み立てる。
	什器備品購入積立基金	500,000	0	-500,000	毎年の金額
予備費		145,039	0	-145,039	
支出合計(B)		19,698,314	5,394,384	-14,303,930	
経常損益金額(A-B)		0	12,009,818	12,009,818	

提出者	大西 健太	部局名	事務管理局 広報部
議題	第二回身体の特シャリストと学ぶ親子『カラダ』ワークショップ		
内容 および 提出趣旨	理学療法士のお仕事説明・ライフキネティック・走り方教室・運動と栄養について・実食 プロスポーツ現場の見学・アップ見学・スタジアム周回(広報) 日時: 2024年11月3日(日) 9:00~16:00 講師: 谷・小椋・宮澤(ヴァンフォーレ) 大西・山田(山梨県理学療法士会) 会場: 小瀬補助競技場・JITリサイクルインクスタジアム 対象: 小学1年~6年生の親子 参加人数: 27組 (申込み36組)		
提出者の意見	上記テーマでイベントを実施致しました。今回で第二回目となります。前回の反省を活かし、PTの介入を多くできるように計9名で運営いたしました。当日は27組の親子(前日の雨で運動会が順延となりキャンセルが9組)が参加しました。アンケートにもあるように非常に満足度が高いイベント開催ができたと感じます。		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A(部長・委員長・代議員)		

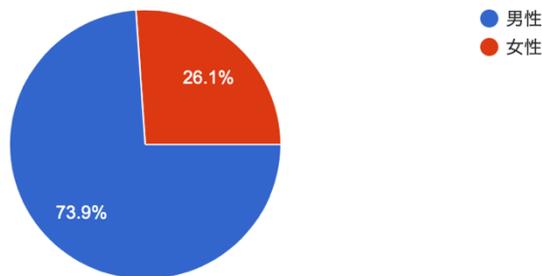
(資料19)

第二回 身体の特シャリストから学ぶ『カラダ』ワークショップ
アンケート結果

11月16日現在 23名の回答

1) お子さんの性別をお答えください。

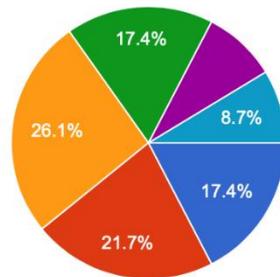
23件の回答

[グラフをコピー](#)

2) お子さんの学年をお答えください。

23 件の回答

 グラフをコピー

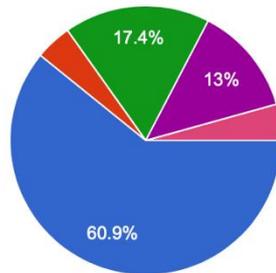


- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4年生
- 5年生
- 6年生

3) 今回の公開講座はどちらでお知りになりましたか？

23 件の回答

 グラフをコピー

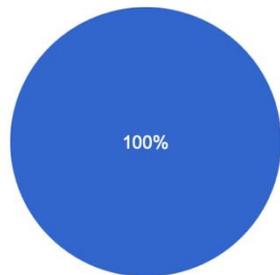


- ヴァンフォーレ甲府のホームページ
- SNS
- インターネット
- 知人の紹介
- 県士会員
- 理学療法協会のメール
- メールマガジン

4) 今回の公開講座の感想をお聞かせください。

23 件の回答

 グラフをコピー

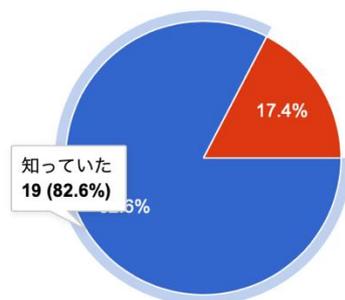


- よかった
- つまらなかった

5) 理学療法士 (PT) という職業をご存じでしたか？

23 件の回答

 グラフをコピー

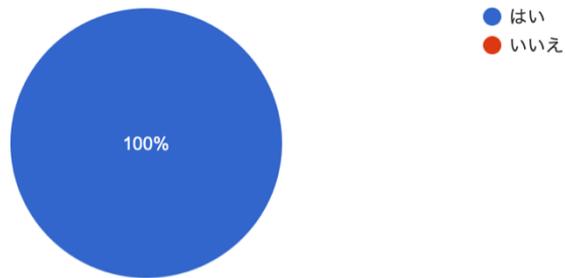


- 知っていた
- 聞いたことがあった
- 知らない

7) 今回の公開講座で理学療法士 (PT) の仕事内容について理解できましたか？

23 件の回答

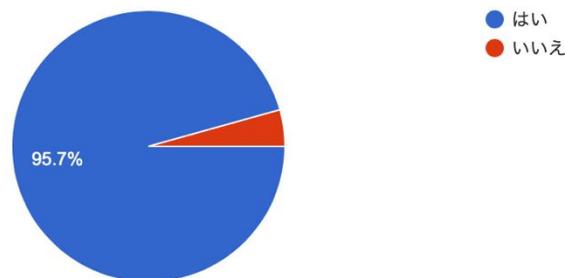
 [グラフをコピー](#)



8) お子さんは定期的な運動機会はありますか？

23 件の回答

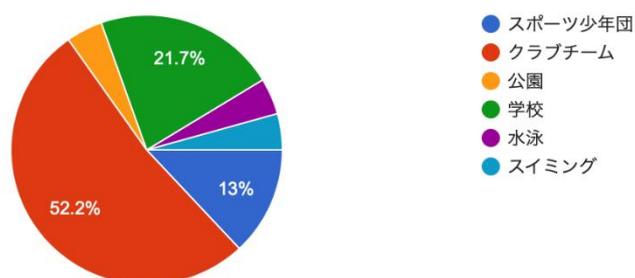
 [グラフをコピー](#)



9) どのような環境で最も運動する機会がありますか？

23 件の回答

 [グラフをコピー](#)



10) 今回のような講座やイベントがあったら参加したいと思いますか？

23 件の回答

 [グラフをコピー](#)



11) その他、感想やご意見、気になった点がございましたらご自由にお書きください。

15件の回答

理学療法士について詳しく知ることができて良かったです。
また、走り方教室やロッカールームやウォーミングアップ見学など普段体験できない事ができ盛りだくさんで最高の1日でした。
長田さんはじめ、理学療法士の皆さんお疲れ様でした。
ぜひまた参加したいです。

PTの仕事を知ることでもでき、プロスポーツ選手の現場を体験することもできる、とても貴重な体験でした。ありがとうございます。

当選の可否から開催日当日までの時間が少なく、子供、家族の予定を立て難かったです。
次回は1週間位前には当選の可否をお知らせ頂けると助かると思いました。
また、当選の可否の日程と落選者にもメール連絡する旨を予め記載して頂けるとより親切だったかなと思いました。

親子で学びある素晴らしいイベントでした。1日中楽しい時間をヴァンフォーレ甲府の皆様が提供頂き有り難く思います。

なかなか出来ない経験で子供も、すごく嬉しそうでした。

とても貴重なお時間をありがとうございました。

理学療法士という職業について勉強できたこと、スポーツの基本、食事についてなどを学ぶ事ができて、子供が自分から走り方を意識したり食べる物を変えたり、選手と理学療法士について話したり、とても嬉しく思います！学べた事が多く、このようなイベントでしたら、沢山参加したいと思いました！ありがとうございました！

親子でとても楽しませていただき、また勉強させていただきました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。
また同様の企画などありましたらぜひ参加させていただきたいと思っております。楽しみにしております。

色々な話が聞けたり、ロッカールームが見れたり楽しかった様です。ありがとうございました。またぜひ参加したいです。

盛りだくさんの内容で良かった。

とても良い企画で、家族で楽しむ事ができました。運営の先生方に感謝を申し上げます。

小学校2年生の子供も走り方の実技に真剣に取り組んでいました。運営の先生方、どうもありがとうございました。

他では体験できない非常に良い機会となりました。走り方・食・理学療法士と大変勉強になりました。来年も是非開催してください！！

イベント、楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。

息子はPTの仕事を初めて知り、ヴァンフォーレの選手たちにもPTが就いているということがとても新鮮だったようです。走り方教室も楽しく参加させていただきました。脳からの指令によって、身体が動くということを知ることができ、息子はそのことを意識しながら実践することに苦戦しながらも挑戦できたことがとても良い経験となりました。

また、管理栄養士さんのお話もとても勉強になりました。息子は食が細く、朝食もあまり食べられなかったり、偏食傾向があるのですが、管理栄養士さんのお話を聞いた後からは、自分が食べたもので身体が造られていくというお言葉が印象的だったようで、あの日以来、息子なりに嫌いなものも一口食べたりと少しずつですが変化してきています。

息子はヴァンフォーレ甲府と選手たちが大好きです。その選手たちが試合をするために普段どんなふうにご覧しているのかや、あれだけの沢山のスタッフの方に支えてもらいながら、試合に臨んでいるということをピッチ以外の場所を見学して知ることができてよかったと言っております。本当にとても良い経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。

チケットの件では、長田さんにご対応いただき、ありがとうございました。募集案内の中に「チケットあり」の表記があるとありがたかったです。

今回のイベントでは、親子共に1日、とても有意義な時間を過ごすことができました。またこのような機会があったら、参加させていただきたいです。ありがとうございました。

スポーツに関わる仕事を知る機会となり良かった

体の使い方がとても理論的でわかりやすかったです。すぐに、実践出来ましたし自分で走ってみて軽く走れる感じがしました。走り方って学校でちゃんと教わったことなかったかもなあ...と思いました。受講させていただいたのにお昼ご飯も試合のチケットもいただけて申し訳ないくらいでした。ありがとうございました。来年は今回これなかった次女も1年生になるので3人で参加できたら嬉しいです！

【 報 告 】 (資 料 2 0)

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2024 年度第 3 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>第 3 回学術研修会</p> <p>日程：2024 年 10 月 27 日(日)10:00～16:00 (休憩 1 時間を含む)</p> <p>会場：桃源文化会館 (対面形成期)</p> <p>講師：山本 周平先生 (信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副療法士長)</p> <p>テーマ：循環器疾患の運動療法～心不全フレイルを含む～</p> <p>受講費用：1000 円</p> <p>参加者：29 名</p>		
提出者の意見	<p>2024 年度第 3 回学術研修会のテーマは「循環器疾患の運動療法～心不全フレイルを含む～」として、信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副療法士長の山本周平先生にご講演いただいた。心不全のうっ血、低心拍出に対するアセスメントおよび運動療法のアセスメントについてご教授いただき、症例を通じて google フォームを活用してグループワーキングを行った。グループワーキングによりアセスメントのポイントが整理でき、臨床推論能力を高める大変有意義な内容であり、急性期～慢性期すべての病期に関わる理学療法士ならびに心リハに携わらない先生にとっても分かりやすく、心不全の患者の診療に役立つことができる研修会となったと考える。</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)		B (会 員)

【 報 告 】 (資 料 2 1)

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2024 年度第 2 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>第 2 回学術研修会 日程：2024 年 9 月 27 日(金)、10 月 18 日(金)、11 月 15 日(金) 各日 19:00~20:00 会場：オンライン開催（各日研修会後 1 週間のアーカイブ配信） 講師：村松 憲先生（杏林大学 保健学部 理学療法学科 教授） テーマ：筋機能を制御する神経生理学 受講費用：無料 参加者：9 月 27 日(金)44 名、10 月 18 日(金)35 名、11 月 15 日(金)26 名</p>		
提出者の意見	<p>2024 年度第 2 回学術研修会は講師に杏林大学の村松 憲先生を招聘し「筋機能を制御する神経生理学」というテーマでご講義をいただいた。オンラインにて平日夜間 3 回に分けて開催を行い、「筋力低下」、「運動の脳機能へ影響」、「糖尿病による運動障害」といった内容で、各回先行研究ならびに村松先生の研究内容をもとに現在解明している基礎的なお話を分かりやすくご教示いただいた。今後、先生のご講義を受け臨床応用につなげ、臨床での成果はどうか検証する必要があると感じた。平日夜間に 3 ヶ月にわたっての開催、開催後のアーカイブ配信は初めての試みであったが、大きな問題なく進行することができた。1 時間の研修会時間は参加者から良かったと多くのご意見をいただいた。研修会内容・講師と相談の上、来年度以降もぜひ開催していきたいと考える。</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

【 報 告 】 (資 料 2 2)

案件番号 -

提出者	鮎川将之	部局名	学術局 研修管理部
議 題	令和 7 年度の理学療法士講習会について		
内 容 および 提出趣旨	<p>開催方法：対面開催 テーマ：転倒予防 日時：令和 7 年 11 月 22 日（土） 講師：鮎川 将之（山梨リハビリテーション病院） 伊藤 克浩（山梨リハビリテーション病院） 他</p>		
提出者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度の理学療法士講習会は対面開催の予定 ・ 協会へは申請済み 		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

【 報 告 】 (資 料 2 3)

提出者	鮎川将之	部局名	学術局 研修管理部
議 題	令和6年度協会指定管理者研修(初級)開催について		
内 容 および 提出趣旨	開催方法：Zoomを使用したWeb開催 テーマ：協会指定管理者研修(初級) 日時：令和7年1月22日(水)18:30~20:00 参加費：無料		
提出者の意見	・円滑に研修会が行えるように研修管理部一同取り組んでいきたいと思ひます		
主な意見内容 など	特になし。		
結 果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)		B (会 員)

【 報 告 】 (資 料 2 4)

提出者	鮎川将之	部局名	学術局
議 題	関東甲信越ブロック協議会 生涯学習担当者会議への参加		
内 容 および 提出趣旨	・ 令和6年10月5日(土)10:20~11:20 幕張メッセ国際会議場 ・ 生涯学習についての会議(現状の課題検討)		
提出者の意見	・ 他県士会においても、前期研修の参加率や症例検討会の発表者不足に悩みを抱えていた ・ 前期研修をオフラインで行う士会もあるが、参加者は集まらない ・ 症例検討会を学会と同時開催の試みはあったので、当士会においても運用を検討したい		
主な意見内容 など	特になし。		
結 果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)		B (会 員)

【 報 告 】 (資 料 2 5)

提出者	小林 幸一郎	部局名	スポーツ理学療法部
議 題	<p>1) 国際ジュニアテニス大会について</p> <p>2) 2024 JOC 杯 U20・U17 全国予選大会関東ブロック大会について (レスリング)</p> <p>3) 第 79 回スポーツ理学療法勉強会について</p>		
内 容 お よ び 提 出 趣 旨	<p>1) 大会名 : EDION CUP 2024 ITF Juniors in Yamanashi 対応日 : 令和 6 年 11 月 11 日 (月) ~ 11 月 17 日 (日) 会場 : クラブヴェルデ (北杜市) 対象 : U18 男女シングル、ダブルス参加選手 出向者 : 13 人 (小林幸一郎、古屋美智留、古屋伴仁、大森英功、齋藤恵介、柳館匠、山下太輔、安藤駿、森田伸哉、高橋謙太、深澤朱加、植田祥平、三木伸太郎) 対応件数 : 28 件</p> <p>2) 大会医務対応の依頼あり 大会名 : 2025JOC 杯 U20・U17 全国予選大会 (関東ブロック) 及び 2025 アジア選手権 U15 代表選出大会予選会 (関東ブロック) 対応日 : 令和 6 年 12 月 25 日 (水) ~ 12 月 26 日 (木) 会場 : 小瀬スポーツ公園 体育館 対象 : U15、U17、U20 関東ブロック対象選手 (男子フリースタイル、男子グレコローマスタイル) 対応スタッフ数 : 5 人/日の予定</p> <p>3) 開催日時 : 令和 7 年 1 月 21 日 (火) 19:00~21:00 開催場所 : ZOOM (ウェビナー) で開催予定 テーマ : 「ACL 損傷の診断、治療、リハビリテーション~受傷からスポーツ復帰まで~」 講師 : 国立病院機構甲府病院 副院長及びスポーツ・膝疾患治療センター センター長 落合聡司 先生 現在、開催に向けて準備中</p>		
提出者の意見	<p>1) 例年同様にフィジオ依頼あり。トレーナールーム、フィールドで、1日2人の部員で対応。毎回、各職場にはスタッフの派遣に協力していただき感謝したい。今大会は天候にも恵まれ順調に試合も進み、大きなけが人もなく無事に対応でき好評を得た。次年度も同様の大会があるためその際にはまたご協力をお願いしたい。</p> <p>2) 昨年同様に JOC レスリング大会への医務協力依頼あり。試合数が多いこともあり本年度は2日間に分けて実施予定。1日5名程度のスタッフが必要であり年末の忙しい中ではあるが各職場にはスタッフの派遣協力をお願いしたい。</p> <p>3) 今回はスポーツ外傷の一つで受傷後に復帰に向けてのリハビリテーションが重要である ACL 損傷について、概論からの診断、治療、リハビリテーションまでを県内で数多くの手術や治療に携わっている落合先生に依頼しオンラインにてご講義を頂くこととなった。現在、準備中であり今後 HP など案内を出すため、ぜひ多くの皆様に聴講していただきたい。</p>		
主な意見内容 など	なし		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)		B (会 員)

【 報 告 】 (資 料 2 6)

提出者	市川 普隆	部局名	社会局 委託事業部
議 題	「令和6年度 健康安全運動講座」について		
内 容 および 提出趣旨	<p>上記内容にて ダイハツ工業株式会社より講師派遣依頼を受け、無事に終了した。</p> <p>日 時：6月25日（火）、10月22日（火） 8時30分～12時</p> <p>※富士吉田店は 6月28日（金）、9月27日（金）参加者が集まらず中止</p> <p>派遣士会員：甲府店</p> <p>野澤 和矢(甲州聖愛ハッピークリニック)、小澤 樹里(甲府共立診療所)</p> <p>深沢 周(フルリールむかわ)、遠藤 慧一(身延山病院)</p> <p>古屋 伴仁(韮崎市立病院)、市川 普隆(白根徳洲会病院)</p> <p>内 容：体力測定、講義・運動指導</p> <p>参加者：6月25日11名、10月22日9名</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>参加者アンケートは、特に要望は聞かれてないが、テレビ局から「講座を受けることで事故は減るか？」と聞かれた。山梨県は全国平均を上回る高齢化率で、かつ交通事故に占める高齢者の割合も高くなっている。今後は当講座を山梨特有の要素を組み込んでいきたい。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	なし		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 報 告 】 (資 料 2 7)

提出者	松野 奈美	部局名	ワークライフバランス部
議 題	R6年度 ワークライフバランス部研修会開催について		
内 容 および 提出趣旨	<p>来年2月に開催予定のハラスメントについての研修会について、現時点での決定事項を以下に報告いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：健康科学大学 福祉心理学科(人間コミュニケーション学科)講師 渡邊 隆文 先生 ・テーマ・タイトル：世代間の視点を尊重した職場づくりとハラスメント対策 ～ベテラン・中堅・新人が共に働くための配慮と工夫～ ・日時：R7.2.6（木）19：00～20：30 開催予定 ・方法：オンライン形式 		
提出者の意見	<p>上記内容について研修会を開催したいと鋭意準備中です。男女問わず世代間での意見やトラブルといった内容を検討しています。方法については視聴のみか、聴講者の参加型か、時間も含めて検討中です。当日資料についても配布可能かどうか確認中です。</p>		
主な意見内容 など	なし		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

【 報 告 】 (資 料 2 8)

提出者	原 啓太	部局名	地域包括ケア推進部
議 題	令和 6 年度「地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー養成研修」の開催につきまして		
内 容 および 提出趣旨	<p>日時：【介護予防推進リーダー】 令和 7 年 1 月 24 日（金）、1 月 31 日（金）両日共に 18：30-21：00</p> <p>【地域ケア会議推進リーダー】 令和 7 年 2 月 7 日（金）、2 月 14 日（金）両日共に 18：30-21：00</p> <p>会場：Zoom 開催</p> <p>内容：地域ケア会議推進リーダー、介護予防推進リーダー取得研修会。</p> <p>受講資格：(1)山梨県理学療法士会員 (2)登録理学療法士取得済みの物 (3)協会の e-ラーニング受講済みの者、または e-ラーニング受講免除登録者</p>		
提出者の意見	<p>・地域包括ケアシステムの推進により、市町村等に対する技術的助言やリハビリテーション専門職の派遣調整などの支援を行う地域リハビリテーション支援体制の整備が進んでいます。</p> <p>・理学療法士が地域包括ケアシステムの一翼を担うことが出来るよう育成強化を進めています。その一環として地域ケア会議推進リーダー、介護予防推進リーダーの養成研修会を開催します。</p>		
主な意見内容 など	<p>質問：去年受けられたのは何名ですか。</p> <p>回答：1 名、毎年やるように協会から言われているが開催の方向で準備を進めている。</p> <p>質問：今後も継続するのか検討していただきたい。</p> <p>回答：前回は県外の参加者だったので、運営のモチベーションも下がるので検討したい。</p> <p>意見：埼玉との合同の話も出たが、県士会員のためといった意見が強かった。</p> <p>質問：最低開催人数を設定してみてもどうか。</p> <p>回答：何人で開催しないとするか微妙。</p>		
結果	今回はこの内容で進めていく。今後は開催も含めて検討する。		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

令和6年11月吉日

一般社団法人
山梨県理学療法士会
会員各位

一般社団法人
山梨県理学療法士会
業務推進局 局長 菊池 信
地域包括ケア推進部 部長 原 啓太

令和6年度山梨県理学療法士会
「地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー養成研修」のご案内

拝啓 時下、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は当士会の活動に対しご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、地域包括ケアシステムの推進により、市町村等に対する技術的助言やリハ専門職の派遣調整などの支援を行う地域リハビリテーション支援体制の整備が進んでいます。

当士会におきましても理学療法士が地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう育成強化を進めております。その一環として今年度も地域ケア会議推進リーダー、介護予防推進リーダーの養成研修会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、ご多忙とは存じますが、多数の方のご参加をお願いいたします。なお、参加される方は、受講資格をご確認いただきお申し込みください。

敬具

記

日時：【介護予防推進リーダー】

令和7年1月24日（金） 18：30～21：00

令和7年1月31日（金） 18：30～21：00

【地域ケア会議推進リーダー】

令和7年2月 7日（金） 18：30～21：00

令和7年2月14日（金） 18：30～21：00

会場：Web 研修会 (Zoom)

内容：地域ケア会議推進リーダー、介護予防推進リーダーのリーダー取得研修会

(各推進リーダーの導入研修修了には、2日間の受講が必要になります。)

参加費：無料

受講資格：1) 山梨県理学療法士会会員

2) 登録理学療法士取得済の者

3) 協会のeラーニングで地域ケア会議推進リーダー並びに介護予防推進リーダー受講済者または、*eラーニングの免除登録者

申し込み：下記の申し込みフォームにアクセスし、必要事項を記入してください

・<https://forms.gle/o5hiV27m94du8SaP6>

・QRコード



締切は7年1月10日（金）とさせていただきます。

キャンセルする場合には、必ず下記「問い合わせ先」へ連絡をお願い致します。

- その他：
- ・e-ラーニングの修了もしくは e-ラーニング免除済みでないと本研修を受講済でも認定証書は発行できませんのでご了承ください。
 - ・免除登録には協会マイページで申請してから1ヶ月程度かかります。
 - ・推進リーダーの登録を事前に済ませてください。

- ・推進リーダー制度・履修要件等に関する会員限定コンテンツへのアクセス方法はこちらをご確認ください。

https://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/profession/20220920_1827.html



- ・推進リーダー取得方法等の詳細につきましてはマイページログイン後のこちらの協会ホームページをご確認ください。

<https://www.japanpt.or.jp/privilege/profession/seminar/chiihoukatsu/>



※ 免除申請の要件等については別紙をご確認ください

問い合わせ先

山梨県理学療法士会 地域包括ケア推進部 推進リーダー事務局
石和温泉病院 理学療法室

Mail : isawa_pt_harada115@yahoo.co.jp

担当 : 原田

*お問い合わせはメールのみで受付けます。

電話・FAX によるお問い合わせは、お受できません。

【 報 告 】 (資 料 3 0)

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	1. 令和6年度第3回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告 2. 令和6年度山梨県地震防災訓練第2回関係者会議参加報告		
内 容 および 提出趣旨	1. 令和6年度第3回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会 日時：令和6年10月21日（月）19時00分～20時00分（Web開催） 参加：PT士会 磯野会長、山下事務局長、大野 検討事項：①令和6年能登半島地震災害における費用弁済について ②R-スタッフ、D-スタッフ、L-スタッフ養成研修について ③令和6年度山梨県地震防災訓練について ④日本災害リハビリテーション支援協会5周年記念式典について ⑤JMAT ロジスティック協議会について ⑥JRAT-DX委員会について ⑦2024年度山梨 JRAT 研修会について その他：大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について 2. 令和6年度山梨県地震防災訓練第2回関係者会議参加報告 日時：令和6年10月25日（金）13時30分～15時00分 会場：身延総合文化会館 参加：磯野事務局長（OT）、大野（市川三郷）		
提出者の意見	① 令和6年能登半島地震災害における費用弁済について RRTで派遣された人の費用弁済については7日以降の派遣は費用弁済対象となっているが、それ以前に派遣された人は費用弁済されない。費用弁済されない場合は山梨 JRAT で費用弁済する。 ② R-スタッフ、D-スタッフ、L-スタッフ養成研修について Rスタッフは言語聴覚士会で2名申し込み済み。Dスタッフは現在7名登録済み。Lスタッフは現在10名申し込み済み。今後も登録施設に偏りがないように登録を進めていく。 ・JRAT 研修企画委員会Rスタッフ・ブラッシュアップコース開催予定 日時：2024年12月18日（水）18時-20時 ZOOM ライブ配信 受講資格：Rスタッフ登録者 ※Rスタッフ登録者以外でも申し込み可能。 ③ 令和6年度山梨県地震防災訓練について 開催日は令和6年11月24日（日）で、会場は身延町総合文化会館敷地内にて実施。当日は福祉避難所設営・運営訓練に参加し、参加者にJRATの広報活動を行う。車いすによる要配慮者の移動方法の伝達や、ダンボールベッドや車いすを使用した移乗動作方法の伝達を実施。PT士会からは萱沼先生（山梨赤十字）、中山先生（辺見診療所）が参加予定。その地震防災訓練の関係者会議が令和6年10月25日に行われ、大野（市川三郷）が参加してきました。身延町役場職員、山梨県看護協会災害支援ナース、山梨県栄養士会、山梨 JRAT で福祉避難所設営・運営訓練内容についてすり合わせを行いました。 ④ 日本災害リハビリテーション支援協会5周年記念について 令和6年度12月7日（土）、九段会館テラスで開催。山梨 JRAT 佐藤副代表が参加予定。 ⑤ JMATロジスティック協議会について 令和6年10月28日（月）に開催され、磯野会長（PT）、磯野事務局長（OT）、宮下PTが参加された。山梨 JMAT と山梨 JRAT の連携及び全国的に課題となっている受援時のロジスティック不足について対応できるように支援・受援体制を整えていく。 ⑥ 令和6年度山梨 JRAT 研修会について 開催候補日は令和7年3月15日。昨年と同様に専門職団体協議会災害対策支援委員会との		

	REHAG 研修会の共同開催を検討する。30～40 名程度で 4 チーム程の規模で実施する予定。
主な意見内容 など	特になし。
結果	上記の報告の通り
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)

【 報 告 】 (資 料 3 1)

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】 令和 6 年度第 3 回がんリハビリテーション推進委員会 会議報告		
内 容 および 提出趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ● 開催日時：令和 6 年 10 月 23 日（水）19 時 00 分～20 時 20 分 Zoom オンライン会議 ● 参加者（敬称略） 山田洋二委員長（帝京科学大学）、遠藤 浩委員（山梨大学医学部附属病院）、 中島秀太委員（山梨県立中央病院）、宮下良美委員（どちペインクリニック）、 上田 修理事（恵信リハビリテーション病院） ● 議事内容 <ul style="list-style-type: none"> 1) NPO 法人がんフォーラム山梨主催「山梨がんフォーラム」について（10/6、12/22） 2) 2025 年 3 月 11 日 がんリハ研修会（仮）について 講師 静岡がんセンター 米永悠佑 PT、田尻寿子 OT ● 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> 1) 2024 年 10 月 6 日第 18 回山梨がんフォーラム山梨の振り返り 人員 10 名【委員 4 名、ボランティア 6 名（県外 PT 1 名、計測員 1 名、学生 4 名）】 参加者：ロコモ 12 名、リンパ浮腫相談 4 名（上肢 3 名、下肢 1 名）計 13 名 2) 2024 年 12 月 22 日がんフォーラム山梨の詳細確認 人員募集、ボランティアの日当申請、ロコモキットのレンタル検討 3) 2025 年 3 月 11 日がんリハ研修会（仮）について 会場：大木記念ホール、宿泊先、懇親会の会場を決める。 受講費、登録理学療法士ポイントの取得について検討。 <p>次回会議日程 11 月 27 日 19 時 30 分～20 時 30 分</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	上記の報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

【 報 告 】 (資 料 3 2)

<p>提出者</p>	<p>藤田 理恵</p>	<p>部局名</p>	<p>糖尿病対策推進委員会</p>
<p>議 題</p>	<p>世界糖尿病デー ブルーライトアップイベント 参加報告</p>		
<p>内 容 および 提出趣旨</p>	<p>日 時：令和 6 年 11 月 14 日（木）17 時 30 分～19 時 30 分 場 所：甲府駅南口エスカレーター前 ・ 信玄公像前 内 容：糖尿病の啓発活動 理学療法ハンドブック「糖尿病」 約 160 部配布 低糖質お菓子(シャトレゼ)配付 .参加者：PT 士会 4 名・山梨医糖尿病内分泌内科医師（6-7 名）・山梨県職員(複数名) シャトレゼ職員(4 名)・その他</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>		
<p>提出者の意見</p>	<p>山梨医大の土屋教授が参加、山梨県糖尿病推進会議の委員長もされているため、PT 士会の活動や PT の会議参画について話をすることができた。配付物を受け取ってくださった方の中には、家族に糖尿病の方がいての困りごと等、話される方が散見され、本人だけでなく家族からの相談を受ける機会も需要があるかもしれない、と考える機会となった。</p>		
<p>主な意見内容 など</p>	<p>特になし。</p>		
<p>結果</p>	<p>上記の報告の通り</p>		
<p>公開度</p>	<p>A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)</p>		

【 報 告 】 (資 料 3 3)

提出者	兩宮直樹	部局名	感染症対策委員会
議 題	感染症対策委員会主催 第1回講演会の開催について（報告）		
内 容 および 提出趣旨	<p>感染症対策に関する下記の講演会を開催しました。</p> <p>講演会は山梨県立中央病院 感染管理認定看護師 高取美香氏を講師にお招きし、感染症対策の基本やリハビリテーション現場で注意すべき感染対策のポイント、Covid-19の最近の知見等、明日から活かせる知識について分かりやすくご講演を頂きました。</p> <p>日 時：令和6年10月29日（火） 19時00分～20時30分</p> <p>場 所：大木記念ホール</p> <p>テーマ：「リハビリテーション現場における感染症対策のポイント」</p> <p>講 師：山梨県立中央病院 感染管理認定看護師 高取 美香 氏</p> <p>座 長：山梨県立中央病院（感染症対策委員会 委員長）</p> <p> 兩宮 直樹</p> <p>参加者：20名 アンケート人数 17名</p>		
提出者の意見	<p>参加者の9割が11年目以上の臨床経験者であり、実際に現場の管理や運営を担っている方の感染症対策への関心や意識の高さを感じました。</p> <p>講演終了後のアンケートでも「非常に学びの多い内容であった」「わかりやすく明日から実践したい」などのお声を頂き、参加者に役立つ情報提供ができたのではないかと思います（アンケート結果は別紙資料ご参照ください）。</p> <p>引き続き、県士会員への感染症対策の情報発信や感染症対策に関する講演会等を企画していきたいと思えます。</p>		
主な意見内容 など	意見：ポイントがないとなかなか参加者が集まらないと思われるので、ポイント付与を検討していきたい。		
結 果	上記の報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員）		B（会 員）

(資料34)

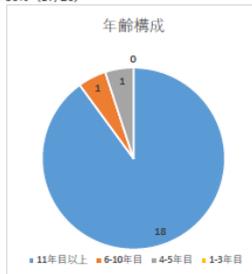
2024年度 感染症対策委員会アンケート結果

回答数

参加者20名 アンケート回収率85% (17/20)

年齢構成

11年以上	18
6-10年目	1
4-5年目	1
1-3年目	0



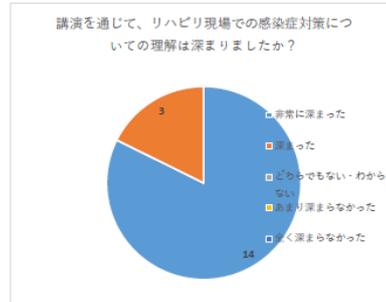
講演内容は満足されましたか？

非常に満足	14
満足	3
どちらでもない・わからない	
やや不満	
非常に不満	



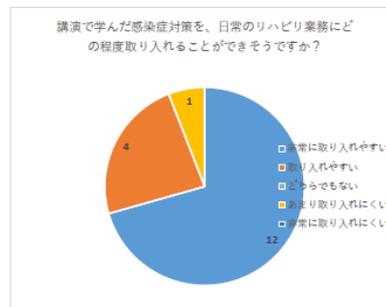
講演を通じて、リハビリ現場での感染症対策についての理解は深まりましたか？

非常に深まった	14
深まった	3
どちらでもない・わからない	
あまり深まらなかった	
全く深まらなかった	



講演で学んだ感染症対策を、日常のリハビリ業務にどの程度取り入れることができそうですか？

非常に取り入れやすい	12
取り入れやすい	4
どちらでもない	
あまり取り入れにくい	1
非常に取り入れにくい	



講師の説明は明確でわかりやすかったですか？

非常にわかりやすかった	16
わかりやすかった	1
どちらでもない	
ややわかりにくかった	
非常にわかりにくかった	



現場での感染症対策について困っていることなどがあれば教えてください。

- ・アルコールは常にしていたが手洗いは徹底していませんでした。
- ・訪問リハで訪問した際に家族が感染していたことを知らなかったことがありました。
- ・個室隔離中の患者さんのメンタルケアがなかなか難しい、いろいろ工夫が必要。
- ・二重手袋は有効でしょうか？

講演全体に関するご意見や、次回の講演会で取り上げてほしいテーマ、委員会に対するご意見などがあればお聞かせください。

- ・実際の感染対策についても実技もしていただく機会があればと思いました。
- ・非常に学びの多い内容でした
- ・わかりやすく、明日より実践したいと思います。
- ・同一患者さんのリハ中の手指消毒が出来ていなかったことに気づいた
- ・共有物品がとても多く、移動も多いため日々気を付けていきたい
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・もっと多くの方に聞いてもらいたいののでZOOM等でも行ってもらいたい。